

平成24年9月～平成25年8月の活動ピックアップ！

このコーナーでは、平成24年9月から平成25年8月までの活動のうち、主なものをピックアップしてご紹介します。

第28回総会及び記念講演会

【開催日】平成25年4月24日（水）

【場 所】松山市

【参加者】総会97名、記念講演会105名（非会員含む）

第28回総会では、運営委員会事務局から提案された平成24年度の事業報告、収支決算報告及び会計監査報告、コンテンツ部会の設置、平成25年度の事業計画案及び収支予算案、役員の選出について審議され、いずれも満場一致で承認されました。

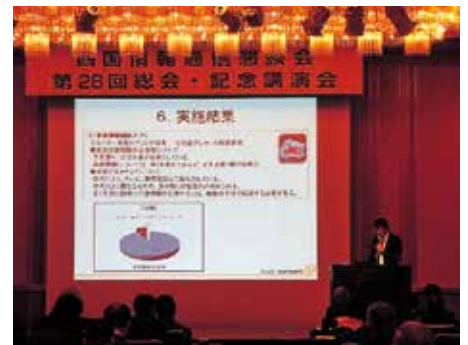


第28回総会における審議

その後、平成24年度調査研究活動の成果報告が実施され、会員委託調査研究2件と、愛媛県上島町におけるICT利活用普及促進活動について発表がありました。

また、総会記念講演会として、神戸大学大学院工学研究科教授の森井昌克氏（四国情報通信懇談会個人会員）の「不正アクセスからサイバーテロへ―狙われる情報資産、今そこにある危機―」と題する講演が行われました。

参加者からは「情報セキュリティの第一人者である森井先生のお話が聞けて、貴重な機会でした。」「勉強になりました。」との感想が多数寄せられ、大変有意義な講演会となりました。



調査研究活動の成果報告



森井講師による記念講演会

情報通信セミナー

1. ICT利活用推進セミナー

【開催日】平成25年6月14日（金）

【場 所】松山市

【参加者】60名

本セミナーの開催にあたっては、四国情報通信懇談会会員を対象にICT利活用に資する取組事例のプレゼンターを公募しました。その結果、



採用された3会員により事例発表が行われました。

セミナーでは、(株)ハートネットワーク取締役の伊藤 直人氏から、高齢者のICT利活用を推進する取組について、日本Androidの会四国支部長の兼久 信次郎氏から、観光地や商店街におけるICT利活用を推進する取組について、(一社)まちテレ専務理事の中野 裕介氏から、観光や地域活動に関するインターネット放送番組を通じた地域活性化事例について、それぞれ発表されました。

2. 地域情報化教育セミナー 2013 in 徳島

【開催日】平成25年8月2日(金)

【場 所】徳島市

【参加者】165名



本セミナーでは、教育分野における情報化の必要性と今後の展開に関する特別講演の他、徳島県における教育情報化の先進事例として東みよし町での取組や、総務省フューチャースクール推進事業の事例として和歌山市での取組が紹介されました。

セミナーには、徳島県内の教育関係者や地方公共団体職員をはじめ多くの方が参加しました。

地域情報化研修会

1. 管内視察研修会

【開催日】平成24年11月15日(木)～16日(金)

【場 所】高松市

【視察先】四国電力(株)スマートメーター実証試験、(株)STNetデータセンター、香川大学危機管理研究センター、かがわICTフェア

【参加者】40名(部分参加者も含む)



スマートメーター実証試験の概要説明

【平成24年11月15日(木)】

まず、(株)STNet本社にて、四国電力(株)が実施しているスマートメーター実証試験の概要について、四国電力(株)と四国計測工業(株)の各担当者から説明を受けた後、スマートメーター単体のデモを見学しました。

続いて、(株)STNetのデータセンターにて、スマートメーター実証試験用サーバを含むコンピュータールーム、監視センター及び無停電電源装置等の施設を見学しました。参加者からは「現在建設中の新データセンターも、ぜひ見学したい。」とのご意見を多数いただきました。

その後、香川大学危機管理研究センターに移動し、同センター長である香川大学 工学部 教授の白木 渡氏から、事業継続計画(BCP)と地域継続計画(DCP)に関する特別講義を受けました。本講義は、地域情報化研修会である「ICTとBCP研修会」の高松会場としても位置付けて実施しました。参加者からは、「DCPという新しい概念を学べて良かった。」との感想をいただきました。



BCPとDCPの特別講義

【4】四情懇の活動

【平成24年11月16日（金）】

この日は終日、かがわ情報化推進協議会設立20周年記念事業である「かがわICTフェア」に参加しました。

まず、参加者は開会式に出席。オープニングセレモニーには、四国情報通信懇談会を代表して会長の田崎 三郎氏が参加され、テープカットを行いました。

次に、参加者はかがわプラザとeーとぴあ・かがわの展示会を視察。地元の企業や大学が出展した最新機器やシステムを体感しました。

午後からは講演会とシンポジウムに参加。総務省自治財政局公営企業課長の木幡 浩氏による基調講演を聴講した後、かがわ情報化推進協議会副会長（高松大学 学長）の佃 昌道氏がコーディネーターをつとめたシンポジウムに参加しました。シンポジウムでは、(株)STNet、西日本電信電話(株)、NPO法人グリーンバレーの3者からICT利活用に関する事例発表が行われました。

管内視察研修会の参加者は、この2日間を通じて、ICTに関するさまざまな最新情報に触れることができました。なお、四国情報通信懇談会では、今年度も管内視察研修会の開催を複数回予定しています。



かがわICTフェアの開会式

2. ビッグデータの分析・利活用に関する研修会

【開催日】平成24年9月13日（木）（高知会場）、9月14日（金）（松山会場）、平成25年2月13日（水）（徳島会場）、2月14日（木）（高松会場）

【場 所】高知市、松山市、徳島市、高松市

【参加者】124名（4会場の合計）



本研修会は、(株)日立製作所 情報・通信システム社 スマート情報システム統括本部 ビジネスイノベーション本部 先端ビジネス開発センタから主任技師・吉田 順氏と技師・高橋 健太氏のお2人を講師にお迎えし、従来の技術では管理・分析が困難なデータ群（ビッグデータ）の分析・利活用について学習することを目的に、四国4県で開催しました。

研修会では、ビッグデータの意味、利活用のポイント、利活用に必要な技術について解説があった後、(株)日立製作所の取組として最新の利活用事例や関連ソリューションについて紹介されました。

参加者は、今話題のビッグデータについて理解を深めることができました。

3. 地域のICT利活用を推進する人材育成研修会

【開催日】平成24年10月19日（金）（高知会場）、平成25年7月24日（水）（徳島会場）、8月6日（火）（松山会場）、8月7日（水）（高松会場）

【場 所】高知市、徳島市、松山市、高松市

【参加者】111名（4会場の合計）



本研修会は、総務省委嘱地域情報化アドバイザーの坂本 世津夫氏（四国情報通信懇談会運営委員長）を講師にお迎えし、地域において不足しているICT利活用に関するリーダー及び高度ICT人材の育成を目的に、四国4県で開催しました。

研修会では、現状を認識する力、人材の要件、ICT利活用による地域活性化等について講義があり、坂本講師からは参加者に対して「人材がないのではない。あなた方一人一人が人材です。」「まずは自分でそう『思う』ところから始めないと、何もできません。」と熱いメッセージが語られました。

これに対して参加者からは、「坂本先生のお話は人間味があって、心に響きました。」との感想をいただきました。

情報化推進イベント

えひめITフェア2013

【開催日】平成25年6月14日（金）～15日（土）

【場 所】松山市

【参加者】8,483名（えひめITフェア実行委員会事務局発表数）



えひめITフェア2013は、「ICTでSmartに変わる！」をテーマに、「通信サービス」、「環境・エコロジー」、「生活・社会」、「医療・福祉」、「教育」及び「事業効率化」の6つのカテゴリ別のゾーニングにより各種の展示が行われたほか、パネルディスカッション、ICTに関わる様々な内容のセミナーなどの多彩な催しにより、ビジネスマンや学生をはじめとして、家族連れにも楽しめるイベントとなりました。

本イベントにおいて、四国情報通信懇談会は「ICT利活用推進セミナー」（情報通信セミナーの記事を参照）、「教育の情報化に関する研修会」及び「映像制作研修会 in 松山（コンテンツ部会）」を開催しました。

ICT研究交流フォーラム

1. スマートハウス・スマートコミュニティ見学会

【開催日】平成24年9月18日（火）～19日（水）

【場 所】福岡市、北九州市

【視察先】福岡スマートハウス常設展示場、（株）九電工本社（以上、福岡市）

地域節電所、北九州水素ステーション、北九州市環境ミュージアム、北九州エコハウス（以上、北九州市）

【参加者】23名

ICT研究交流フォーラムは、全国のスマートグリッド関連実証実験を紹介した「第5回技術セミナー」（平成24年5月18日（金）に愛媛大学にて開催）をフォローアップする目的で、スマートハウス・スマートコミュニティに関する見学会を九州にて開催しました。

【平成24年9月18日（火）】

参加者は、福岡市の「福岡スマートハウス常設展示場」にて、福岡スマートハウスコンソーシアム代表の中村 良道氏から実証実験に関する概要説



【4】四情懇の活動

明を受けた後、スマートハウスの施設を見学しました。

次に、(株)九電工本社に移動し、同社の本社ビルのエネルギー管理の仕組みやBEMSに関する取組について説明を受けました。

【平成24年9月19日（水）】

参加者は、北九州市の「ヒューマンメディア創造センター」にて地域節電所を見学した後、「北九州スマートコミュニティ創造事業」について説明を受けました。

その後、「北九州水素ステーション」、「北九州市環境ミュージアム」、「北九州エコハウス」を見学後、現地解散となりました。

参加者は、スマートハウス・スマートコミュニティの先進的な取組を行っている九州の施設を見学することにより、「第5回技術セミナー」で紹介された事例について、さらに理解を深めることができました。

2. ネットワーク仮想化の技術勉強会

【開催日】平成25年3月22日（金）

【場 所】高松市

【参加者】78名



本勉強会は、次世代技術基盤として注目が集まっているネットワーク仮想化技術を学ぶことを目的に、香川大学工学部において開催しました。

勉強会は、ICT研究交流フォーラムの代表幹事（高知工科大学 情報システムセンター長 教授）の福本 昌弘氏の「ネットワーク仮想化の利用例」の講演からスタート。続いて、シスコシステムズ合同会社の担当者から「SDN」、NIC Tの担当者から「OpenFlow」の各技術解説とデモが行われました。（「OpenFlow」については「技術コラム」を参照）そして、NIC Tの担当者からJGN-Xの利用に関する案内がされた後、最後にICT研究交流フォーラム幹事（香川大学 工学部 教授）の今井 慈郎氏から、JGN利用環境の実現に関する香川大学の取組事例が紹介されました。

当日の会場には多くの参加者が詰めかけ、ネットワーク仮想化に対する関係者の関心の高さがうかがえました。

3. 第8回技術セミナー

【開催日】平成25年6月27日（木）

【場 所】高知市

【参加者】66名



本技術セミナーは、ICTの利活用による地域課題の解決を目指した研究開発の取組と成果を発表し、併せて研究成果等のデモを実施し、ICT研究開発の必要性を広く認識してもらうとともに、セミナー参加の大学・企業等技術者により、研究開発への参加・協力・連携等の新たな展開も期待して開催したものです。

技術セミナーでは、総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）の成果発表3件、高知県内で実施された「情報流通連携基盤の地盤情報における実証」に関する報告、そして公募によって選ばれた技術コンサルタント事務所S. R. L代表の武智 伸三氏（四国情報通信懇談会個人会員）による発表が行われました。最後に、NIC Tの担当者からJGN-Xの利活用事例についての紹介がありました。

会場では、発表された研究成果のデモも実施され、研究成果について参加者に理解していただく良い機会となりました。

コンテンツ部会

映像制作研修会 in 黒潮

【開催日】平成25年6月23日（日）

【場 所】黒潮町

【参加者】20名



コンテンツ部会は、高知県黒潮町のふるさと総合センターにおいて、地域コンテンツを有効かつ効果的に情報発信できる人材の育成を目指して、黒潮町ケーブルテレビ放送の埜下 安弘氏を講師にお迎えし、映像制作研修会を開催しました。

研修会では、30秒のCM作品の作成を通して、動画撮影の基礎知識・編集方法の説明と撮影実習が行われました。

研修生は、各グループに分かれて映像の企画や構成を話し合い、デジタルビデオによる撮影やパソコンによる編集作業を体験しました。

コンテンツ部会では、映像制作研修会の開催を通じて人材の育成に努める等、地域の活性化に向けたコンテンツの利活用に関わる取組を行っていきます。（コンテンツ部会の映像制作研修会は、黒潮町のほかに今治市と松山市で開催済み）

調査研究活動

四国情報通信懇談会では、会員の主体性を活かした調査研究活動を実施するために、会員からの提案を募集し、採択審査の上、提案会員にその調査研究を委託しています。平成25年度は、下記の1件の提案が採択されましたので、ご紹介します。

「NFC歌留多」によるスマートフォン操作の簡単化とスマートハウスアプリへの応用研究

【実施者】愛媛大学 工学部 准教授 都築 伸二 氏

【調査研究概要】○NFCタグシールを張り付けたカード（本研究では歌留多（かるた）と呼ぶ）に、タブレットやスマートフォンをかざすことによって、目的とするアプリを実行するための仕組み（「NFC歌留多アプリ」と呼ぶ）を、流通しているシールやツールを用いて構築し、それらの使い勝手や改善点を調査する。

○高校卒業程度の情報リテラシーを有する人が使える、「NFC歌留多アプリ」のひな型（テンプレートと呼ぶ）を開発し、当該アプリの使い方および、カスタマイズ指導のための講習会（以下、NFC歌留多アプリ講習会と呼ぶ）を開催する。講習会参加者にはアンケートを実施し、テンプレートなどの教材の使いやすさを改善する。

○NFC歌留多アプリ講習会で指導するカスタマイズ課題は、健常者も使って嬉しい・楽しいスマートハウスアプリとする。そのアプリ開発に必要な気温モニタリングや電気機器制御用のセンサーネットワークを本講習会用に開発し、その効果を検証する。